

パナソニック提供龍谷講座 in 大阪
～今、あなたに知ってほしい世界の現実～
2010 年度 社会貢献・国際協力入門講座

第3回 平和のレシピ

日時 6月2日(水)午後7時～8時30分
会場 龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室
講師 清家 弘久 日本国際飢餓対策機構 常務理事
URL <http://www.jifh.org/>



第3回の講師は、活動開始から来年30年を迎える日本国際飢餓対策機構の清家弘久さんです。

「あなたにとって、大切な人、もの、宝物は何ですか」、質問から始まりました。そして、「それが、何かの圧力により突然奪われ、殺されたらどのような気持ちになるのでしょうか」と、清家講師は続けます。

怒り、悲しみ、恨み、そして相手への仕返しを考えた方は多いのではないのでしょうか。世界で起こっていることを私たち自身の立場に置き換えることから、考え始めました。

戦争・紛争はなぜおこるのか？！

戦争や紛争の原因として、宗教や、領土問題などがあげられます。しかし実際は、自分の大切なもの、愛する人たちが奪われていくことが一番の原因です。相手への仕返しの気持ちをどこで断ち切るのか、戦争や紛争はそこから派生していくのではないのでしょうか。

ルワンダ大虐殺

「少年兵」という言葉を聞いたことはありませんか。東アフリカのウガンダでは、まだ学校に通う年齢の子どもたちが誘拐され、兵士として訓練された、戦う子どものことです。森に連れて行かれ「少年兵」となる彼らが教えられるのは、「生き延びる方法」と「人の殺し方」のたった2つだけです。

1994年にはルワンダで、20世紀最悪の虐殺ともいわれる内戦が勃発しました。それは、わずか3ヵ月の間に、多数民族のフツ族が少数民族のツチ族など100万人ともいわれる命を奪いました。それに伴って、大量の難民がで、両部族間に深い憎しみの傷を残しました。部族の分け方は、鼻の幅や背の高さといった外見的特徴や、財産である牛の数だといわれています。ベルギーが、両者を対立させ、利用しながら植民地経営を行いました。

あまりにもこの内戦に関わった人が多いため、首謀者は国の裁判で裁かれ、他の人は「ガチャチャ法廷（草の根法廷）」で裁かれました。「ガチャチャ法廷（草の根法廷）」とは、地域社会の指導者が司法上の紛争を解決するという、アフリカのなかで行われてきた独特の手法です。具体的には、村の長老を裁判官に見立てて罪を犯した側（フツ族） 侵された側（ツチ族）が向き合って罪の告白をすることが行われています。日本国際飢餓対策機構は、現地の団体「REACH (Reconciliation Evangelism And Christian Healing for RWANDA)」を通じて、加害者が被害者の目の前で、壊された家を造る「償いの家造りプロジェクト」を支援しています。それは被害者たちの見えないところで罪の償いをして、憎しみや怒りなどだけが残り、意味がないのです。しかし、そのプロジェクトによってすぐに和解出来るわけではなく、両者共に、不安や、憎しみなど複雑な思いがまだまだ存在するのです。

また、私たち日本人が戦後と言っていますが、世界では戦争や紛争がなかった年は一年もありません。

平和を構築するためには？

世界の平和を考えた時、私たちがいるアジアでは、まず歴史問題、領土問題が立ちはだかっています。幸せは、誰もが願うことですが、生きていくなかで、必ず摩擦などが起こります。平和な世界を私たちはどのようにして構築するのかを考えていくことが大切なのです。

「共生」することも重要です。「共生」とは、他の生物から養分や危険からの保護などの利益を得る代わりに、その生物にとって何等かの利益を提供するといった異なる生物種間の相互依存関係のことです。すなわち、お互いがお互いを必要とする関係になることが求められます。国際協力は「与える、与えられる関係」になるのではなく、「共に生きていくこと」が重要です。私たちはどのようにして共に生きていくことができるのでしょうか。まずは、お互いがお互いを知る必要があります。

大江健三郎さんがおっしゃっている「新しい人」をご紹介します。それは敵意を滅ぼし、和解を達成する人を指します。また、多くの人に「新しい人」になっていただくためにも、まず私たちは生き続けなければなりません。

このように、世界が平和になるためにも一人ひとりの力が大切になってきます。そして今、世界ではどのようなことが起きているのかを知る必要があります。しかし、それを遠い国の出来事として捉えるのではなく、まず、自分自身の立場に置き換えて考える必要があるのではないのでしょうか。

最後に、絵本『ゴンドールのやさしい光』^{*1}が紹介されました。

*1 エチオピアで大飢饉があったとき、スタッフの一人がそこで出会ったおじさんと二人の少女の心温まるストーリーです。